



永峰 高志 Takashi Nagamine ヴァイオリン

1980年東京藝術大学卒業、NHK交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。

現在、オーケストラとの共演やリサイタル等ソリストとして、ウォルフガング・サヴァリッシュ、ペーター・シュミードル、ヴェンツェル・フックス各氏との共演等室内楽奏者として活躍している。

また、新日本フィルハーモニー管弦楽団等のオーケストラにゲストコンサートマスターとして出演し、好評を得ている。

近年は、シュトゥットガルト室内管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等を指揮し好評を得るなど、指揮者としても活動の場を広げている。

国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、2010年より岩手県久慈市文化会館（アンバーホール）の芸術監督を務めている。2020年7月25日マイスター・ミュージックよりアルバム「ロマンス」をCDとLPレコードで同時リリースした。ピアノは本学教授久元祐子氏。

使用楽器：ストラディヴァリウス1723年製「ヨアヒム」（国立音楽大学所有）

三戸 誠 Makoto Sannohe ヴィオラ

国立音楽大学附属音楽高等学校音楽科、同大学を経て、同大学院音楽研究科器楽専攻（ヴィオラコース）修了。1998年より三戸誠 & 佐藤由里亜デュオ・リサイタルを毎年開催。99年アメリカ・メイン州“Arcadia International String Festival”に、室内楽・オーケストラのコーチとして参加。2006年ISMEマレーシア・クアラルンプール大会にてデュオ・リサイタル、“Sentuhan International Music Festival”にてトルコのAnatolian Sun Quartetとセッションを行い、好評を博す。

09年憲法映画「太陽と月と」、17年映画「グローバルヘルス実現のために」の音楽を担当する。15年第10回リサイタルを催す。ヴィオラを渡部啓三、ミルトン・トーマス、室内楽を岩崎淑、中村泉の各氏に師事。現在、国立音楽大学講師。

阪田 宏彰 Hiroaki Sakata チェロ

国立音楽大学卒業。YAMATO String Quartet 代表。大阪国際室内楽コンクール入選。NHK-FMリサイタル、ニッポン放送公開録音「新日鉄コンサート」などに出演。

CD「山田耕柝 室内楽全集」を始め、日本民謡・タンゴ・ロックなど幅広いジャンルのCDをリリース。

群馬交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー、山形交響楽団などの客演首席奏者も務めてきた。桜美林大学講師。

高橋 聖純 Seijun Takahashi フルート

東京都出身。15歳よりフルートを始め、私立八王子高校を経て、1993年国立音楽大学音楽学部器楽学科に入学。在学中より日本木管コンクール、京都芸術祭第1回フルートコンクール、日本管打楽器コンクールなどに入賞する。97年、同大学を首席で卒業し矢田部賞を受賞。99年より数多くのオーケストラ奏者を輩出したドイツの名門シュトゥットガルト国立音楽大学に留学。2001年札幌交響楽団に入団し翌年から副首席奏者、12年から20年3月に退団するまで首席奏者を務める。オーケストラでの活動に加えソロ、室内楽でも積極的に活躍し、07年には第12回びわ湖国際フルートコンクールにて第1位、併せて武者小路千家賞を受賞。

ソリストとしてもこれまでにモーツァルト作曲フルートとハーブの為の協奏曲、尾高尚忠作曲フルート協奏曲、バッハ作曲管弦楽組曲第2番を札幌交響楽団と共演。17年秋にはモーツァルト作曲フルート協奏曲第1番をウィーン室内管弦楽団と共演し好評を得た。

これまでにフルートを大友太郎、岡崎明義、ジャン・クロード・ジェラルド、パウル・マイゼンの各氏に師事。現在、札幌大谷大学講師。国立音楽大学准教授。

辻 功 Isao Tsuji オーボエ

東京藝術大学音楽学部付属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。在学中オーボエを似鳥健彦、梅原美男、鈴木清三、小島葉子、W.リーバーマンの各氏に師事。同年、日本音楽コンクールに入選。1985年第1回国際オーボエコンクール第2位（第1位なし）。86年財団法人ソニー音楽芸術振興会主催第1回“パフォーマンス・トウデイ”にて好評裡に東京デビュー。

87年北西ドイツ音楽大学（デトモルト音楽院）を首席で卒業。在学中、オーボエをH.ヴィンシャーマン、G.シュマルフスの両氏に師事。92年読売日本交響楽団に首席として入団。2020年3月同団を退団する。

92年、95年、99年リサイタルを東京にて開催し好評を博す。現在、東京シンフォニエッタメンバー、洗足学園音楽大学客員教授、国立音楽大学教授、日本オーボエ協会理事長。

久元 祐子 Yuko Hisamoto ピアノ

東京藝術大学を経て、同大学院修了。ウィーン放送響、ラトビア国立響、読響、新日フィル、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。

音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。19世紀初頭のオリジナル楽器を数多く所蔵し、歴史的ピアノの演奏、研究にも取り組む。ショパン生誕200年記念年には、全国でプレイエルの演奏会に出演し軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后（現 上皇上皇后）両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、ベーゼンドルファー本社（ウィーン）とオフィシャル・アーティスト契約を結ぶ。イタリア国際モーツァルト音楽祭にたびたび招かれリサイタルを開催。「優雅なるモーツァルト」（毎日新聞CD特選盤、レコード芸術特選盤）などCD13作をリリース。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」（音楽之友社）など多数。国立音楽大学・大学院教授、ベーゼンドルファー・アーティスト。

<http://www.yuko-hisamoto.jp/>

たましんRISURUホール

〒190-0022 東京都立川市錦町3-3-20

- JR立川駅南口より、すずらん通りを直進。徒歩13分
- JR南武線西国立駅より、徒歩7分
- 多摩モノレール立川南駅より、立川南通りを直進。徒歩12分

TEL. 042-526-1311

受付時間9:00~20:00/第3月曜(祝日の場合は翌平日)休館

